



わたしたちがあなたにオススメの1冊をセレクト!

Supporter's selection!!

名古屋 入江貴大さんのイチオン



『ストーリーでわかるスターバックスの最強戦略』

浅沼宏和 著 (ばる出版)2013
名図開架 673.9:A87

今では、すっかり有名店のスターバックスも最初から成功の道りを歩んでいたわけではありませんでした。コーヒーという身近でありふれた商品をどのようにして多くの顧客に支持される「価値」に変えたのか、戦略ストーリーについて書かれた本なので、経営学部の方にはもちろんのこと、それ以外の方にも是非読んでみて欲しい1冊です。



名古屋 秋田桃子さんのイチオン



『女子大生会計士の事件簿』

山田真哉 著 (英知出版)2002
名図開架 913.6:Y19

私と同じ“女子大生”の会計士が会社の悪を暴きます!ミステリー好きにも、経理や会計士に興味がある人にも、知っておいて損はない?まめ知識を増やしたい人にもおすすめです。会計のことがわからなくても楽しめる一冊で、私はこの本で簿記に挑戦しようと思いました。付録も楽しいので、最後の最後までぜひ読んでみてください!



名古屋 西山小晴さんのイチオン



『かもめのジョナサン』

リチャード・バック 著 (新潮社)2015
名図文庫 933:B13

「自分が空でできることは何で、できないことは何かを知りたいんだ!」ジョナサン・リビングストンは「飛ぶ喜び」「生きる喜び」を求め、自分の限界を突破しようとする。自信が持てず、決心が付かず、悩んでいた時期に出会った一冊。この著者は元パイロットで、躍動感あふれる飛行シーンは読み応えがあります。ジョナサンは自由の素晴らしさと生きる喜びを教えてくださいました。



名古屋 新庄有喜子さんのイチオン



『華氏451度』

レイ・ブラッドベリ 著 (早川書房)1970
名図開架 908.3:Se22:13
※世界SF全集第13巻に収録

華氏451度は本のページに火がつき、燃え上がる温度である。読書や本の所持が禁止され、これが見つかる焚書官と呼ばれる者が本を焼いてしまうという社会。焚書官である主人公はある事件をきっかけに、本への興味がおさげれなくなり…書物の背後には、それぞれのひとりの人間がいる。書物はなぜ重要なのか。現代に生きる私たちにも改めて考えさせられるブラッドベリ作品の一つ。



名古屋 永谷瑛里香さんのイチオン



『中国式離婚』

王海鸰 著 (論創社)2014
名図開架 923.7011

まるで読む屋ドラです!物語はある中国人夫婦の離婚をめぐる騒動から始まります。急激な経済的発展がもたらした人々の意識の変化、価値観の変化を離婚というテーマを通して知ることができます。また中国ではドラマ化もされ、現地でも支持されている作品です。ぜひ本を通して異文化を感じてみましょう。



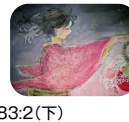
名古屋 吉田緑さんのイチオン



『田辺聖子の古典まんだら』

田辺聖子 著 (新潮社)2013
名図文庫 910.2:Ta83:1(上) 910.2:Ta83:2(下)

"古典は、実はいつの世でも一番新しいのです。"古典の魅力をやさしく語り尽くす、古典文学入門。腰を据えて古典の原文を(できれば現代語訳と数種類の解説付きで)読んでいきたい本です。読み進めるうち、お気に入りの一節が出来てそれを口ずさんでみたり、好きな人物が見つかるかもしれません。古典を味わってみたい人はぜひこの本から始めてみてください。



名古屋 浜里敏大さんのイチオン



『免罪の戦後史 刑事裁判の現風景を歩く』

菅野良司 著 (岩波書店)2015
名図開架 327.6:Ka57

罪のない人間の人生を狂わせた冤罪事件は繰り返される!当時の状況確認や当事者たちへの取材などから浮かび上がる判決への疑問点。司法は絶対的に“正義”と言えるのか?殺人から痴漢まで、冤罪が疑われる様々な事件が取り上げられている。罪なき人も罪ある人も他人事じゃない?



名古屋 伊藤沙笑さんのイチオン



『ABC殺人事件』

アガサ・クリスティ 著 (早川書房)2003
名図文庫 938:C58:11

ポアロの元に届けられた挑戦状に基づいて、アルファベットの順番に殺人事件が起こります。複雑な殺人事件、偽の手がかりや隠れた動機などが毎ページに見られて、ミステリー好きにはたまりません。読みながら推理をし、解決してスカッとする。何度読み返しても楽しむことができオススメです。



豊橋 佐藤桃香さんのイチオン



『いちばんわかる手製本レッスン: 手で作る本と基本技法』

井上夏生 著 (スタジオタッククリエイティブ)2012
豊図開架 022.8:113

「本を作ってみたい」。本好きの方なら一度は思ったことがあるのではないのでしょうか。製本と聞くと難しそうにも思えますが、作り方や道具の使い方が丁寧に解説され初心者にもおすすめです。紙、表紙布といった素材や、綴じ方の組み合わせ次第で世界にひとつだけの本に。製本を通じて、本そのものにも詳しくなれる一冊です。



豊橋 永田亜紗子さんのイチオン



『桃太郎話: みんな違って面白い』

立石憲利 編著 (岡山デジタルミュージアム)2006
豊図開架 388.1:Ta94

誰もが1度は聞いたことがあろう昔話、桃太郎。あなたが知っているのはどんな桃太郎だろうか。おともは犬?それとも石臼?...この本には、中国地方を中心に実際に伝承されてきた、ちょっとずつ違う内容の桃太郎が載っている。1話がとても短いため読みやすいし、それぞれの違いに思わずくりとしてしまうこと間違いなし!



名古屋 大谷由季さんのイチオン



『イニシエーション・ラブ』

乾くるみ 著 (文藝春秋)2007
名図開架 913.6:159



ごく普通の恋愛物語のように思えて、実は驚くような巧妙なトリックが隠されています。映画化されていて観た方も多いと思いますが、そのあと読んで楽しめます。トリックがわかった時、もう一度読みたくなります!

名古屋 中村直美さんのイチオン



『白書の白書』

(木本書店)1992~2015(以後継続)
名図参考 351:K137 豊図開架 350.59:12



白書とは、日本政府の施策について現状分析と事後報告を中心とした公表資料で、現在41種類の白書が発行されています。愛知大学名古屋図書館には刊行されている白書すべてが取り揃っていますので、数年前の白書と最新の白書を見比べてみることで、日本政府の施策の変化の様子がわかります。今回ご紹介する「白書の白書」は、41種類の白書から各種統計資料とともに、それぞれの白書の要約がまとめられていて、手軽に読みやすいものになっています。「身近におけるベンチマークデータの宝庫」と記載があるように、授業レポートや卒業論文などに幅広く利用できる資料です。

名古屋 目黒識貴さんのイチオン



『バルサの食卓』

上橋菜穂子・チーム北海道 著 (新潮社)2009
名図文庫 596.04:U36



上橋菜穂子さんの名作に登場する料理のレシピが一冊の本に!架空の世界の料理が身近な食材で忠実に再現されています。上橋菜穂子さんの本を読んだことのある人もない人も、料理が出てくる場面の抜粋と、料理に対する上橋さんのコメントを読めば食べたくなること間違いなし!ガッツリ系からデザートまで幅広いレシピが載っています。

名古屋 坂野果穂さんのイチオン



『「苦情」対応力 お客様の声は宝の山』

関根眞一 著 (講談社)2007
名図開架 673.3:Se36



タイトルの通り、苦情の対応についてのことしが書かれていません。が、なぜか笑いが込み上げてくることもしばしばあります。この本を手にとったとき、私はアルバイト先で掛けられた言葉につまずいていました。自分では思いつかない考え方でお客様へ誠意を表す店員さんの言葉に、対応だけでなく、お客様について勉強していく大切さを知りました。

名古屋 織田彩花さんのイチオン



『青い鳥』

重松清 著 (新潮社)2010
名図文庫 913.6:sh28



一人の先生と様々な問題を抱えた子供たちの物語です。この本に出てくる村内先生は言葉がつかえて上手く話せません。だからこそ大切なことしが話さない、そして確かにその言葉は子供たちに届きます。読んでみると色々と考えさせられる話ばかりです。映画にもなったこの一冊、良ければ読んでみてください。

名古屋 鈴木菜々さんのイチオン



『屍鬼』

小野不由美 著 (新潮社)1998
名図開架 913.6:O67:1(上) 913.6:O67:2(下)



外場という村にとある家族が越えてきて、時を同じくして村に死が蔓延し始める—— じわじわと何か恐ろしいことが進行していく中での登場人物達の心情や、それに抵抗する人達、事件の発端となった人達の心情を繊細に描いた小説です。争わざるをえない二つの立場の中で葛藤する人々の姿が深く印象に残っています。読んで終わりではなく、読んだ後も何か考えずにはいられない作品です。

名古屋 小島友里亜さんのイチオン



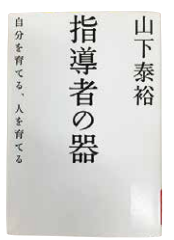
『似ている英語』

小かべたかし(文)、やまてたかし(写真)
(東京書籍)2015
名図開架 834:037



英語を勉強していると、似ている英語に悩むことがあります。この本は、そんな悩みを写真で違いを示して解決してくれる本です。また、似ている英語に関連した情報やコラムなどもたべになります。この本は、「似ている英語」の違いを解決するだけでなく、「ことしを撮影する」ということ面白さにも気づかされる一冊です。

名古屋 久野高裕さんのイチオン



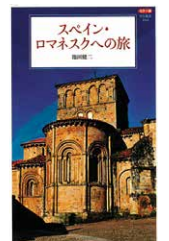
『自分を育てる、人を育てる』

山下泰裕 著 (日経BP社)2009
豊図開架 789.2:Y44



前人未踏の203連勝という結果を出し、指導者としても大きな足跡を残した山下氏が、選手・指導者として経験してきたことを通じて、どのように苦難を乗り越えたか、何を大切にできたか、どのように自分に吸収してきたかが示されている。「良いことも悪いことも、起きたことから何を学ぶかで、人生は大きく変わる」という言葉を大切にしたい。

豊橋 秋山菜野花さんのイチオン



『スペイン・ロマネスクへの旅: カラー版』

池田健二 著 (中央公論新社)2011
豊図文庫 523.36:132



ヨーロッパの教会を見たことはありますか?荘厳な雰囲気の付む教会たち。何の為に建てられたのか、どんな願いが込められているのか。どの教会にも、それぞれ大切な意味があるのです。この本では、スペインのロマネスク様式の教会たちに出会えます。是非手に取って、スペインの教会を巡る旅のような気分読んでみてください!!

豊橋 堀江萌さんのイチオン



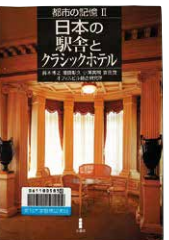
『おそろし: 三島屋変調百物語事始』

宮部みゆき 著 (角川書店)2008
豊図開架 913.6:Mi71



江戸で評判の袋物屋「三島屋」の一室で開かれる、変わり百物語。語られるのは、生者と死者の思いが複雑に絡み合った奇妙で恐ろしい話。それを聞く、主人の姪のおちかは、その身に起こったある出来事がきっかけで、心を閉ざしていた… 恐ろしくも、温かな物語である。怪談が苦手な人も、そうでない人も、この世界に触れてほしい。

豊橋 杉浦啓介さんのイチオン



『日本の駅舎とクラシックホテル 都市の記憶II』

鈴木博之、増田彰久、小澤英明、吉田茂、
オフィスビル総合研究所 著 (白揚社) 2005
豊図開架 523.1:Su96:2



みなさんは「近代建築」と聞いて何を思い浮かべますか。実は現在でも駅舎やホテルとして人々に使われています。明治から戦後復興期までに建てられた近代建築は日本の伝統と西洋のデザインが融合して独特の雰囲気に包まれています。この本を手にとって古き良き時代の場所と人の営みを建築から感じてみるのも良いかもしれません。

